

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社大気社（証券コード:1979）

### 【新規】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- 1913年創業の大手空調工事会社。半導体、医薬品工場などの産業空調工事やオフィスビルをはじめとするビル空調工事を行う環境システム事業と、大型塗装プラントの設計・施工を手掛ける塗装システム事業を展開する。環境システム事業では産業空調工事に強みがあり、同事業における25/3期の売上高構成比は産業空調工事が78.3%、ビル空調工事が21.7%となっている。塗装システム事業においては自動車メーカーなどから大型塗装プラントを受注しており、世界第2位のシェアを誇る。当社全体の25/3期の海外売上高比率は47.7%と高く、国内外において製造業を中心に幅広い顧客を有している。
- 分散の効いた事業ポートフォリオを構築しており、業績の変動リスクは抑制されている。こうしたことから、中期的に業績は安定的に推移する見通しである。環境システム事業は半導体関連メーカーの設備投資やデータセンター関連投資の堅調な推移が予想されるほか、塗装システム事業においても自動車メーカーの更新投資やインドなどの特定地域における増産投資の継続が見込まれる。また、財務構成は良好である。自己資本比率は50%超と高く、実質無借金を継続している。中期経営計画では、成長投資と株主還元を強化しているが、当面のキャッシュフローを考慮すれば、財務構成の健全性は維持される見込みである。以上から、長期発行体格付を「A」、見通しを「安定的」とした。
- 環境システム事業と塗装システム事業では需要変動リスクが異なるほか、海外売上高比率が5割弱と高く、地域分散も進んでいる。また、両事業ともに、これまでの豊富な施工実績から生じるリニューアル工事などを捕捉することで、業績の安定性につなげている。今後、成長産業、グローバル、非日系企業を軸とした成長戦略を展開していく方針であり、こうした戦略によって事業基盤の更なる強化が進んでいくか、JCRでは注目していく。
- 26/3期の営業利益は213億円（前期比18.5%増）の計画であり、2期振りに最高益更新が見込まれる。人的資本投資および基幹システムの更新などによる販管費増加や塗装システム事業における前期の大型案件の反動減が予想されるが、環境システム事業と塗装システム事業ともに受注がおおむね順調に消化されていく見通しである。
- 財務健全性に関する指標は良好である。25/3期末の自己資本比率は55.2%（前期末:54.0%）と高い。また、同期末の自己資本は1,480億円（同:1,440億円）である。総資産の約5割を占める売掛債権の多くが、与信リスクの低い大手企業のものであり、リスクバッファーとしての自己資本の厚みは十分である。中期経営計画では3ヵ年（26/3期～28/3期）でM&Aなどの成長投資が380億円、株主還元が315億円を計画しており、前中計と比べて投資や株主還元ともに増加する見通しである。ただし、利益水準も向上していることから、自己資本が緩やかに増加していく見通しであり、良好な財務構成の維持は可能と考えられる。

（担当）大塚 浩芳・下田 泰弘

## ■ 格付対象

発行体：株式会社大気社

## 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年2月26日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武  
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社大気社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

## ■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル